

第50回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日時	平成27年12月18日(金) 午後4時30分～午後6時05分
開催場所	滝川市役所3階 302会議室
出席状況	【委員】 出席：石川委員長、山田副委員長、岸下委員、本多委員、高橋委員、越後委員、佐藤委員、水戸委員、貝之瀬委員 欠席：藤本委員 【事務局】 くらし支援課 横山課長、大橋係長、酒井主査、金子主任級主事
議事内容	1 開会（横山課長挨拶） 2 協議事項 ○第2次滝川市環境基本計画（案）について ・第1章 計画策定の基本的な考え方 ・第2章 目指すべき環境の姿と基本目標 ・第3章 各分野の取組における現状と課題 ・第3章まで事務局より説明を行った。 これに対する各委員からの意見等は次のとおり。 委 員) ①4ページの図について、目次と対応して第〇章とか入っているとわかりやすい。 ②6ページ、1（1）ア ごみ分別の歴史は表の形式にした方がわかりやすい。 ③6ページ、1（1）イ 全国・北海道とのごみ排出量の比較は、グラフがあった方がわかりやすい。 事 務 局) わかりやすく、見やすい形にするということで検討する。 委 員) 感想ということで述べさせていただく。 ①5ページ、「1 目指すべき環境の姿」「地球」という表現は不要ではないか。 ②5ページ、2 目指すべき環境の姿、基本目標、各分野の基本目標の最後が「まち」で終わっているが、「環境」と「まち」は、感覚的に違和感がある。「まちづくり」等としてはどうか。 ③5ページ、2 目標1「環境にやさしく～」とあるが、不要ではないか。全体的なイメージがある。 ④5ページ、2 各分野の目標と第4章の取組内容とイメージが合わない。 委 員) ①「目指すべき環境の姿」の前などに滝川の環境の特徴等の説明があると、目指す姿もイメージしやすい。 事 務 局) 文章の修正について、検討する。

	・第４章 「１ 生活環境」について、事務局より説明を行った。 これに対する各委員からの意見は次のとおり。
委 員)	市民運動「エコライフたきかわ」とはどういうものか。
事 務 局)	今までの環境の取組として、各担当からそれぞれの取組をバラバラに提示し、まとまっていなかったという反省を踏まえ、情報を一元化して市民の方により理解していただけるような形で届けることができないか、また、どうすればエコの生活になるのかということを知りやすく提案することで、受け取る側もわかりやすく理解できるような取組づくりということで考えている。例えばあいうえおのごろ合わせ的なことをするとか、１人ひとり無理なく環境に手軽に取り組めることで考えているが、具体的な中身については、これからとなる。
委 員)	環境の取組は、幅広いのでひとつに取りまとめるということか。
事 務 局)	生活環境になっているが、自然環境やＣＯ₂削減など各分野の基本目標に向かって進める全体的なものと考えている。
委 員)	市民運動と書いてあるがどういうものか。
事 務 局)	市民団体や事業所、個人、町内会単位の行動がどんどん盛り上がり、全市的に広がればよいと考えている。「エコライフたきかわ」を「エコたき」と略して親しみやすさを演出していきたい。それを実践することで、「エコの達人」略して「エコたつ」といった呼び方も考えており、日常生活の会話に出てくるくらい浸透させることが目的の一つである。
委 員)	計画のどこかに資料で入れれば良いのではないか。
委 員 長)	エコライフたきかわは新しい言葉なので、もう少し説明があると良い。
事 務 局)	来月以降に具体的なものをまとめてご提示させていただきたい。
委 員)	今回計画していく中で、新規もあれば、継続するものや、改善するものもある。それがわかるようにした方がよいかわからないが、私はある方が良いという感想。
委 員 長)	事務局と検討する。
	・第４章 「２ 地球環境」について、事務局より説明を行った。 これに対する各委員からの意見は次のとおり。
委 員)	未利用となる自然活用エネルギーとはどのようなものがあるか。

	事務局) 例えば、稲わらのエネルギー活用などや、新たに利用できるエネルギーがあれば検討していきたいと考えている。 委員) イの取組で情報収集・提供とあるが情報提供としてはどんなものがあるか。 事務局) ホームページや広報、町内会回覧などが現在考えられる。 委員) 滝川市でPM2.5などの大きな影響はないと思うが、例えば、外出を控えてくださいとかそういう周知は難しいと思う。 事務局) 効率的な連絡方法を検討していきたい。 委員長) 広報車の呼びかけとか、町内会の会長が回るとか考えられる。 滝川市は情報提供しているというアピールがあれば良いのではないか。 委員) FMラジオなどで周知してはどうか。 事務局) 検討する。 委員) 19ページ風力発電だが、風力発電を設置する前に規模の大小に関わらず周辺の環境調査をやっていただきたい。ふれあいの里の風力発電について、野鳥の会の立場から言わせてもらおうと、並木の近くに風力発電があり、並木の果実を食べに飛来するが、そのようなことを考えられていないので、他の環境団体に支障がないか調査すべきである。 事務局) 事業は他の所管で行っているが、今後は調査するよう伝える。 委員) 自然エネルギーを使うだけ個人の負担も大きくなっていく。良いことばかりではないということも考えていただければと思う。風力発電を行って電力を売電した場合、その一部は私たちの電気料金に上乗せされてしまうなど。 委員) 18ページア2) 省エネルギーの実践で事業者の取組（行動）内容2段目ここだけが「努めます」ではなく「心掛けます」にトーンダウンしている。統一した方が良いのではないか。 19ページア3) 再生可能エネルギーの導入で事業者の取組（行動）内容がここだけ「再生可能エネルギー機器」となっている。これも統一して機器は不要ではないか。 事務局) 全体の文面を通して修正する。 ・第4章 「3 自然環境・農業」について、事務局より説明を行った。 これに対する各委員からの意見は次のとおり。 委員) 指標で公園整備数とあるが、参考までに平成27年度現在の公園数は何箇所
--	--

	か。 事務局) 公園数は68箇所。そのうち、整備の必要な公園数を指標としている。 ・第4章 「4 環境コミュニティ」について、事務局より説明を行った。 これに対する各委員からの意見は次のとおり。
委 員)	成果指標2 環境市民大会における参加者の平均評価点は、大会についてのものか、滝川市の環境全体に対してのものか。
事務局)	環境市民大会についての評価点。エコネット登録団体や環境学習リーダーなど環境保全に携わった方々にも来て、参加していただき、その活動内容などを掲示、報告することから市民大会だけの評価としている。
委 員)	環境教育の充実に関わることは、他の章の項目でも同じように出ているところがあり、重複してわかりづらい。この章は、コミュニティの育成につなげるということにした方が良いのではないか。 環境教育の充実の次世代エネルギーパークについては地球環境に含めるのが良いのではないか。
委 員)	ワークショップを2グループに分かれてこれまで行ってきたが、共通の課題とは14ページの(3)の課題である「今後は、関係機関・団体の横の連携を図るとともに情報を集約し、それらを結びつけるような仕組み作りが求められます」だと思うが、取組内容に見当たらないので、23ページ(2)ア1)の情報発信だけではなく、「団体の取組を共有する場を設ける又は検討する」あるいは「情報を集約する拠点の整備を行う、又は検討する」など追加してはどうか。
事務局)	考え方を整理して回答する。 ・第5章 について、事務局より説明を行った。 これに対する各委員からの意見は次のとおり。
委 員)	図10について、26ページに記載されているが、説明は前の25ページである。 わかりづらいので、25ページに記載できないか。
事務局)	レイアウトを検討する。
委員長)	他になければ、この素案については、12月27日までに意見等があればいただき、修正後、年明けまでに案として送付させていただく。
3 その他	○次回会議開催予定について説明 ・案として完成したものを委員宛に送付する。 ・1月については、パブリックコメントを進めるため市長説明や議会説明を

	行う。 ・2月1日から中旬までパブリックコメントを実施。市役所庁舎のほか江部乙支所、まちづくりセンター、コミュニティセンターに意見箱を設置する予定。 ・2月20日以降、環境市民委員会を開催し、計画の完成版をお示ししたい。 ○環境市民大会（H27.2.6開催）のご案内 4 閉会
--	---

会議資料	資料1 第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画（素案）
------	-----------------------------